

組合員
1枚

単協消費委員会ニュース 第1弾

単協独自品「**経木**」を使おう！

利用が落ちていま～す

単協独自品とは…

生活クラブ長野単協で独自に取り扱う消費材で、毎週・隔週・月に1回の取組品、また季節限定取組品等があります。「月刊生活クラブ 長野版」で、毎月取り扱う消費材を1ヶ月分まとめてお知らせしていますので、カタログ回収に直ぐに出さずに、カタログの保存をお願いします。

2024年9月23日
単協消費委員会 発行



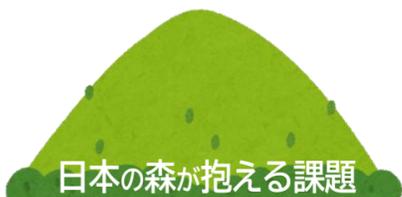
その昔、仏教の経典を書くために使われていたことが由来。木を薄く削り、乾燥させたもので、日本伝統の包装材です。ラップやホイルなどの普及と共にあまり見かけなくなりました。

2021年11月から単協独自品として、生産者「(株)やまとわ」の伊那谷産アカマツを使用した「経木」を取り組み始めました。製造する際に、木の特性上ロスとして発生してしまう「B品」です。普段使いとして問題ありません。「もったいない」と思わず、木の有効利用として使いましょう！

経木は「調湿作用」「通気性」「抗菌性」に優れています。
食材の腐敗を抑制し、鮮度を保ちます。

生産者 (株)やまとわ

やまとわは、伊那市で家具づくり、農林業、森のプランニングなどを行っています。「森でつくる暮らしをつくる」を企業理念に地域の森林資源を使って、再び森と暮らしをつなぐことを目指しています。



日本の森が抱える課題

日本は森林資源に恵まれています。現在、手入れの行き届かない人工林と、林業に携わる人が少ないことが問題となっています。県内ではアカマツの「松枯れ病」被害が問題となっています。

「やまとわ」経木との出会い

やまとわの中村社長は「何十年も掛けて育ったアカマツが枯れてしまう前に、次の命を吹き込みたい」と考えていた矢先、「経木」と出会いました。曲がりくねって育つアカマツは建材には不向きですが、経木には大変適しています。消費材の「経木納豆」の経木を作っていた信州新町の職人、山岸さんから経木の機械を譲り受け、やまとわで経木づくりをスタートしましたが、最初はベテランの職人をもってうまくいかず、試行錯誤したそうです。

経木を使うことで、森の循環につながります！

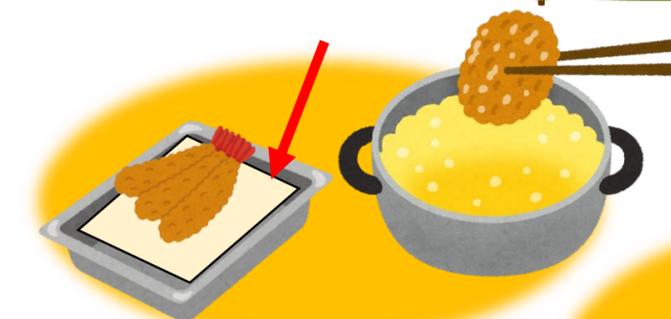
経木ってなあに？



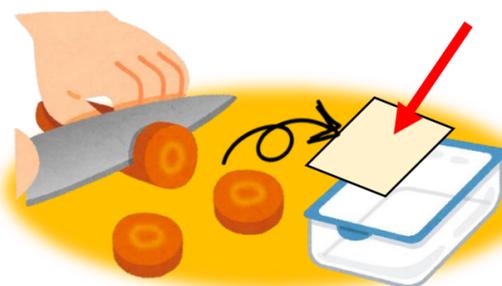
天然のクッキングシート！

経木の使い方

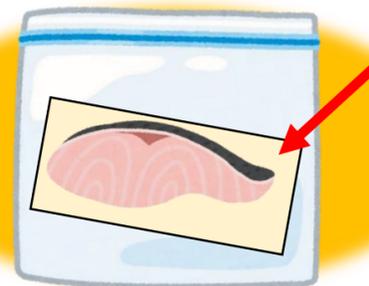
経木を使って脱プラアクション！



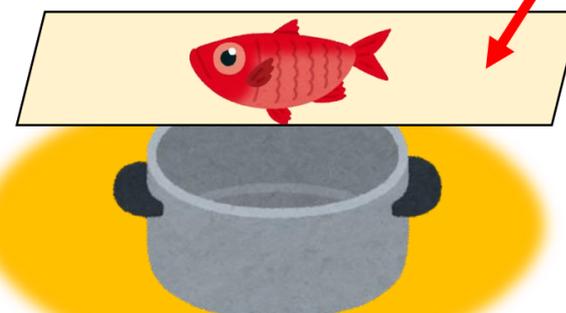
その① 揚げ物をする時にバットに敷く
(油をスゴ〜く吸ってくれます！)
お皿にも敷くと、更に油分を吸収!!



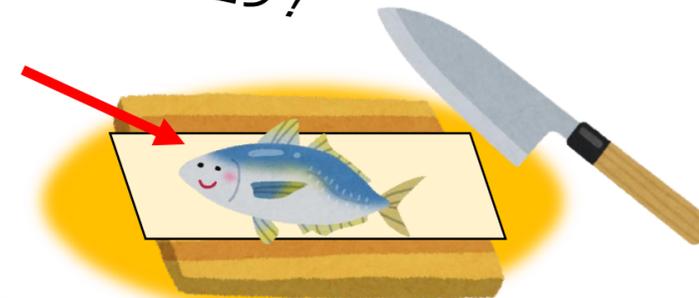
その④ 使いかけの野菜を保存容器に入れて保管する際に敷く
(変色しにくい！)



その② お魚の切り身(お肉)を冷凍するときに敷く
(ドリップが出ません)



その⑤ 煮魚を煮るとき、なべ底に敷く
(調理後、そのままお皿に盛り付けると煮崩れません)



その③ お魚(お肉)を切る時にまな板に敷く



その⑥ おむすびを包む
(経木を湿らせてから包むとご飯がくっつきません)



その⑦ お菓子等のお皿代わり敷く

注文番号:826/信州経木 middle(50枚入)/幅12×長さ42cm 605円(税込)

注文番号:827/信州経木 short(50枚入)/幅15×長さ24cm 485円(税込)

3ヶ月に1度の注文サイクルです！

次回:10月2回 /注文締切:9月30日~10月4日



信州経木 short 信州経木 middle